

これまでの経緯

- 第1回観光立国推進閣僚会議 (平成25年3月26日開催) において、観光立国を実現するための施策について、関係行政機関の緊密な連携を確保し、その効果的かつ総合的な推進を図るため、日本経済再生本部等における議論も見据えつつ、策定することを決定。
- 「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」を決定した第5回会議 (平成27年6月5日開催) において、安倍総理より、「今後も、このアクション・プログラムについて、毎年見直しを行いながら、全力で取り組んで行く。」旨発言。

概 要

- 「観光ビジョン実現プログラム2017」は、平成28年3月30日に「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」 (議長：総理) において決定した新たな観光ビジョン (本年3月に策定された「観光立国推進基本計画」にて内容が充実されたものを含む) を踏まえた、政府の今後1年を目途とした行動計画として、策定する。
- 第7回観光立国推進閣僚会議 (平成29年5月30日持ち回り開催) において決定。

「観光ビジョン実現プログラム2017」の主要施策①

- ・「観光戦略実行推進タスクフォース」の3つの柱
- ①観光資源の保存と活用のレベルアップ ★ ②「楽しい国 日本」の実現 ★ ③JNTOの大胆な改革 ★
- ・「歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース」とりまとめ ◎

＜魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放＞ ★

- 赤坂迎賓館・京都迎賓館
- ・一般公開を通年で実施し、季節等に応じた夜間公開も実施するとともに、特別開館も推進
- ・赤坂迎賓館前の公園に、カフェ及び休憩機能、トイレ等を有する施設を整備するため、設計業務に着手
- 桂離宮
- ・1日当たりのガイドツアー回数・総定員を拡充するとともに、外国人専用の英語ガイドツアーを新たに実施
- 公的施設の公開拡大に伴う、維持管理費用の増大への対応と、更なるサービス水準の向上を図るための料金水準のあり方について、引き続き、有識者の意見を踏まえて検討



＜文化財の観光資源としての開花＞ ★

- ・「文化財活用・理解促進戦略プログラム2020」を踏まえ、文化財を中核とする観光拠点を中心に全国で200拠点程度整備。特に優良な観光拠点形成の事例のモデルを創出するため、4箇所の地域において、面的・一体的な整備を重点的に支援



- 青森県弘前市
- ・地域の核となる文化財の修理・整備
- ・武家住宅等を公開・観光施設として整備
- ・他省庁（国土交通省、観光庁等）予算と連携したハード・ソフト両面からの一体的整備

- ・文化財修理について工事の質を担保するため契約手続きを改善

＜景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上＞

- ・景観まちづくり刷新支援事業等を活用し、景観まちづくり刷新モデル地区（本年3月に10地区を指定）へ重点支援

＜国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化＞ ★

「国立公園満喫プロジェクト」として、先行的、集中的に取り組む実施する8つの公園ごとに策定された「ステップアッププログラム2020」に基づき、公募等により民間事業者の知恵や資金を最大限活用し、以下の取組等を実施

- ・上質なホテルの誘致や、自然や温泉を活かしたアクティビティの充実
- ・エリア内の景観デザインの統一等の景観改善
- ・自然保全コストの一部負担を利用者に求める仕組みの導入



●日光国立公園

- ・カフェスペースの併設など、公共施設を民間へ開放
- ・ラグジュアリーホテルの進出等を見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備
- ・旧大使館別荘のイベント等への積極活用

＜滞在型農山漁村の確立・形成＞ ◎

- ・農山漁村において、持続可能なビジネスとして「農泊」に取り組む地域を2020年までに500地域創出することに向け、現場実施体制の構築、農林漁業体験プログラムの開発、古民家の改修等への支援を実施。また、ジビエ料理・商品の情報発信を促進

＜古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進＞ ◎

- ・地域に残る古民家等の歴史的資源を上質な宿泊施設やレストランに改修し、観光まちづくりの核として再生・活用する取組を、重要伝統的建造物群保存地区や農山村地域を中心に2020年までに全国200地域で展開

＜新たな観光資源の開拓＞ ★

「楽しい国 日本」という新たなブランドの確立に向け、歴史、文化だけにとどまらない新たな観光資源開拓の取組を促進

- ・伝統芸能等の参観型コンテンツやサイクリング等の参加型コンテンツについて、受入体制の整備や情報発信の強化を実施
- ・美術館・博物館の開館時間の延長を更に促進
- ・ブロガーやSNSを活用し、多言語で一元的に発信

「観光ビジョン実現プログラム2017」の主要施策②

- ・「観光戦略実行推進タスクフォース」の3つの柱
- ①観光資源の保存と活用のレベルアップ ★ ②「楽しい国 日本」の実現 ★ ③JNTOの大胆な改革 ★
- ・「歴史的資源を活用した観光まちづくりタスクフォース」とりまとめ ◎

＜観光関係の規制・制度の総合的な見直し＞

- ・「**通訳案内士法**」の一部改正において、業務独占規制廃止後の通訳案内士の質の維持・向上策として、**定期的な研修受講の義務化**を導入するほか、**通訳案内士試験の内容を見直し**
- ・「**旅行業法**」の一部改正により、**ランドオペレーター**の登録制度を導入し業務を適正化するとともに、**地域限定旅行業務取扱管理者制度の創設等**とあわせ、**地域限定旅行業の業務範囲を見直し**
- ・「**観光産業革新検討会**」において、本年7月目途のとりまとめも踏まえ、**宿泊産業におけるICTの活用や宿泊施設間の連携、泊食分離の促進等による宿泊産業のビジネスモデルの変換の促進等、宿泊施設の生産性向上に資する支援策を検討**

＜民泊サービスへの対応＞

- ・「**住宅宿泊事業法**」の制定において、**業を営む者に係る届出制度並びに登録制度を設ける等の措置を講ずることにより**、民泊サービスの適正な運営を確保しつつ、観光旅客の来訪・滞在を促進

＜産業界ニーズを踏まえた観光経営人材の育成・強化＞

- ・トップレベル経営人材の恒常的な育成拠点を**一橋大学及び京都大学の大学院段階に形成**するため、**観光MBAの開学準備を推進**
- ・観光分野を含めた人材養成のニーズに対応するため、「**学校教育法**」を改正し、**実践的な職業訓練を行う専門職大学を創設**
- ・**学生向けインターンシップモデル事業の実施**により即戦力となる実務人材の育成を図るとともに、**外国人材の活用**に向けた環境を整備

＜「観光地再生・活性化ファンド」の継続的な展開＞ ◎

- ・官民ファンド、関係機関等と必要な連携を行い、REVICの有する観光まちづくりに関する投資ノウハウ・人材支援等に関する機能を**2018年度以降も安定的・継続的に提供できる体制を整備**

＜次世代の観光立国実現のための財源の検討＞

- ・昨今のインバウンド拡大が我が国の経済、社会、人々の暮らしに変化を及ぼし、観光が成長戦略や地方創生の柱となる状況を踏まえて、今後さらに増加する観光需要に対して高次元で観光施策を実行するために必要となる国の財源の確保策について検討
- ・検討に当たっては、他の観光先進国の取組も参考にしつつ、観光立国の受益者の負担による方法により、観光施策に充てる財源を確保することを目指す

＜訪日プロモーションの戦略的高度化及び多様な魅力の対外発信強化＞ ★

JNTOの大胆な改革に向け、以下の取組を実施

＜国別戦略の徹底＞

- ・**国別目標を設定**した上で、国毎のターゲット層の設定などにより、きめ細かなプロモーションを実施
- ・**欧米豪の訪日無関心層を取り込むための新たなキャンペーン**を大々的に展開



＜デジタルマーケティングの本格導入＞

- ・データ分析に基づく**科学的マーケティングの実施**や、外国人視点による**ウェブサイト等のコンテンツを充実**

＜戦略的誘客の実現に向けた体制の強化＞

- ・本部・海外事務所において**専門人材の活用拡大**
- ・海外において**現地関係者や民間企業との連携強化**により**オールジャパン体制**を構築
- ・**地方自治体・DMOとの連携**や**地方支援を専任とする部署の設置**により、**地方の行うプロモーションの質の向上**を実現



＜MICE誘致の促進＞

- ・政府横断的な支援策をまとめた**アクションプラン**を策定

＜ビザの戦略的緩和＞

- ・**フィリピン向けの数次ビザ発給要件の緩和**（商用目的・文化人・知識人の対象拡大等）を実現

「観光ビジョン実現プログラム2017」の主要施策③

＜最先端技術を活用した革新的な出入国審査等の実現＞

- 審査待ち時間を活用し指紋等の個人識別情報を事前に取得する**バイオカード**を本年4月までに成田をはじめとする**12空港**に導入済。これらの実施状況等を踏まえ対象空港の拡大を検討
- 先進的な**ボディスキャナー**を那覇、鹿児島など8空港に導入するとともに、**高性能な爆発物等自動検知機器**を羽田空港などへ新たに導入
- 日本人出帰国手続における**顔認証技術**を活用した**自動化ゲート**を本年度中に一部の空港で先行導入

＜通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きできる環境の実現＞

- 防災拠点等におけるWi-Fi環境について、**2019年度までに約3万箇所**の整備を推進するとともに、2018年までに20万箇所以上で事業者の垣根を越えてシームレスに公衆無線LAN接続できる認証連携の仕組みを構築
- 地方の観光地等で**多言語音声翻訳システムの実証実験**を実施
- JNTO認定の外国人観光案内所**を本年度中に**1000箇所程度**とするほか、**観光地周辺の公衆トイレの洋式化**等を促進
- ムスリム誘客のための**アクション・プラン**を新たに策定



和式トイレ



洋式トイレ

＜急患等にも十分対応できる外国人患者受入体制の充実＞

- 診療所やクリニックも含めた、外国語診療が可能な「訪日外国人旅行者受入れ医療機関」(約900箇所)**をさらに充実
- 2020年までに「外国人患者受入れ体制が整備された医療機関」を100箇所整備する目標を、**本年度中へ前倒し**

＜「地方創生回廊」の完備等＞

- 鉄道駅の多言語表示**や**ナンバリング**、**Wi-Fi環境の充実**、**ジャパン・レールパス等の外国人向け企画乗車券の利便性向上**を促進
- 2020年の概成**に向け、「**高速道路ナンバリング**」や**道路標識の整備**を全国で推進

＜地方空港のゲートウェイ機能強化とLCC就航促進＞

- 北海道における複数空港の一体運営（コンセッション等）の実現に向け、**本年中にマーケットサウンディング等**を実施
- 「地方イン・地方アウト」の流れを創出するため、「**訪日誘客支援空港**」の認定を通じ、**関係省庁と連携し集中支援**
- 羽田空港の飛行経路の見直し、成田空港の**高速離脱誘導路**の整備等により、**2020年までに両空港の空港処理能力**をそれぞれ**約4万回拡大**するための取組を推進

＜クルーズ船受入の更なる拡充＞

- 民間による創意工夫が盛り込まれた旅客ターミナルビルの整備**を、**無利子貸付制度**で支援することにより促進するとともに、**旅客施設等への投資**を行うクルーズ船社に**岸壁の優先利用**を認める新たな仕組みを創設



＜休暇改革＞

- 「**キッズウィーク(仮称)**」として、学校の夏休みなどの長期休業日の一部を学期中の平日に移して設定する**学校休業日の分散化**や、**分散化された学校休業日に合わせた有給休暇取得の促進**、**休日における多様な活動機会の確保**、**人数に関わらず利用できる適切な料金の宿泊商品造成**を図り、**これらの取組を官民一体となって推進するための取組を進める**